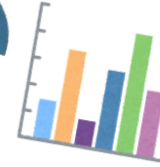
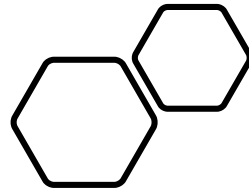


がんばれ！はびきの！



羽曳野市の財政状況 〈令和3年度決算〉

【第2版】

羽曳野市総務部財政課

羽曳野市の財政の状況を、つぶたんと一緒に見ていきましょう！



～ 目 次 ～



Q1.	そもそも財政ってナニ？	1
Q2.	羽曳野市のお財布にはどんなものがあるの？	2
Q3.	一般会計の決算の概要を教えて！	4
Q4.	令和3年度の歳入の特徴を教えて！	6
Q5.	令和3年度の歳出の特徴を教えて！	9
Q6.	令和3年度に行った主なお仕事を教えて！	14
Q7.	羽曳野市にはどれくらい貯金があるの？	15
Q8.	羽曳野市にはどれくらい借金があるの？	16
Q9.	羽曳野市の財政状況は大丈夫なの？	17
Q10.	これからの羽曳野市に必要なことはナニ？	22
Q11.	僕たち、私たちにできることは？	24



よろしくね！

羽曳野市の財政状況をできるだけわかりやすく説明するね。





Q1. そもそも「財政」ってナニ？



市役所では、市民の皆さんから税金をいただき、子育て、福祉、教育など、市民の皆さんの生活にかかわる色々な仕事をしています。
市役所では、そういった仕事を効率的に行うために、様々な「お金のやりくり」をしています。
つぶたんもお小遣いをもらったなら、それをどうやって使うかを考えるよね。
市役所では、その「お金のやりくり」のことを「財政」と呼んでいます。

《もう少し詳しく》

予算とは？

市役所では、市民にかかわる色々な仕事をしています。しかし、市役所に入ってくる収入には限りがありますので、その収入の見込みの範囲内で、やらなければならないことの優先順位をつけ、仕事をしています。

この収入と支出の見積もりのことを「**予算**」と呼んでいます。市役所では、毎年度「予算」を作成し、これに基づいて様々な仕事をしています。

また、異なる仕事ごとにお財布（＝会計）を分けて、その仕事ごとの予算を作成する場合があります。

決算とは？

市役所では、市民の皆さんから税金などを集め、様々な市民サービス等を行っています。そして、それらの収入がいくら集まり、市民サービス等にいくら使われたのかを、毎年度取りまとめしています。

この収入と支出の取りまとめ結果のことを「**決算**」と呼んでいます。決算では、市役所がその年度にお金をどう使ったか確認できます。また、決算の数値を用いて市役所の財政状況がどうなっているかをチェックすることができます。

「決算」は、言わばその年度の市役所の成績表です。

Q 2. 羽曳野市のお財布にはどんなものがあるの？



市役所のお財布には、大きく分けて「一般会計」、「特別会計」、「公営企業会計」の3つの種類があります。

《もう少し詳しく》

一般会計

R3年度にかかったお金
約462.3億円

市の基本的なお仕事（福祉、教育、ごみ処理、保健、道路など）をするためのお財布。
皆さんからいただく税金などが主な財源。

特別会計

R3年度にかかったお金
約267.4億円

国民健康保険など、特定の目的の為のお財布。保険料等の収入により医療費等の支出をまかなう。一般会計と分けることで経理を明確にしている。

公営企業会計

R3年度にかかったお金
約47.6億円

水道、下水道など民間企業に似たお仕事を行うためのお財布。料金等の収益により費用をまかなう。一般会計と分けることで経理を明確にしている。

令和3年度では
市役所全体で

約777.3億円

のお金がかかりました。



次のページで、それぞれのお財布の収支を見てみましょう。

羽曳野市のお財布ごとの収支（令和3年度決算）

収支（収入－支出）がマイナスになることを「赤字」と言うよ。

種類	お財布の名前 (会計名)	収入 (収益)	支出 (費用)		収支	説明
			一般会計 繰入金	繰入金		
一般	一般会計	468.0億円	-	462.3億円	5.7億円	市役所の基本的なお仕事をするためのお財布
特別	国民健康保険特別会計	130.8億円	12.3億円	129.1億円	1.7億円	自営業者の方などが病気やけがをしたときの医療費を負担するためのお財布
	介護保険特別会計	111.4億円	17.1億円	109.4億円	2.0億円	高齢者の方が介護が必要になったときに受けるサービス等の費用を負担するためのお財布
	後期高齢者医療特別会計	19.4億円	3.9億円	18.8億円	0.6億円	75歳以上の方などが病気やけがをしたときの医療費を負担するためのお財布
	財産区特別会計	15.4億円	0.0億円	0.5億円	14.8億円	昔から地域の皆さんで使っていた、ため池や山林などを維持管理するためのお財布
	土地取得特別会計	9.6億円	1.8億円	9.6億円	-	道路などの工事をするために必要な土地を購入するためのお財布
公営企業	と畜場特別会計	0.6億円	0.6億円	0.6億円	-	皆さんが食べる牛肉等を加工するための施設の維持管理を行うためのお財布
	水道事業会計	23.1億円	0.0億円	18.5億円	4.6億円	皆さんが使う水を供給する水道施設の維持管理を行うためのお財布
	下水道事業会計	32.4億円	9.3億円	28.5億円	3.9億円	皆さんが使用した水を処理場に送り、適切に処理するためのお財布

※四捨五入の関係で「収入－支出」と「収支」が一致しない場合があります。

一般会計繰入金是一般会計が負担すべきお金のほか、他の会計が赤字になりそうなときに一般会計から仕送るお金のことだよ。

どのお財布も収支に赤字がなくて安心。でも、一般会計繰入金がなかったら赤字になるお財布もあるみたい。もし一般会計が赤字になったら、大変だね。





Q3. 一般会計の決算の概要を教えてください！

令和3年度一般会計決算の概要

- ・歳入（収入）：467億9,830万円（前年度比 -83億6,322万円）
- ・歳出（支出）：462億2,908万円（前年度比 -88億2,979万円）

⇒形式収支（歳入－歳出）：5億6,921万円

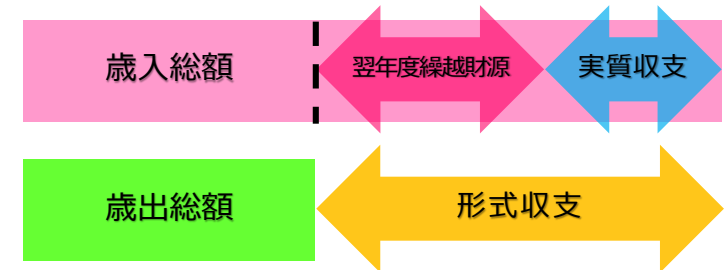
このうち翌年度に繰り越す仕事（令和3年度に終わらなかった仕事）に使うためのお金「0万円」を差し引いた金額が、

⇒実質収支（形式収支－翌年度繰越財源）：5億6,921万円

平成18年度以降、16年連続で黒字を確保。

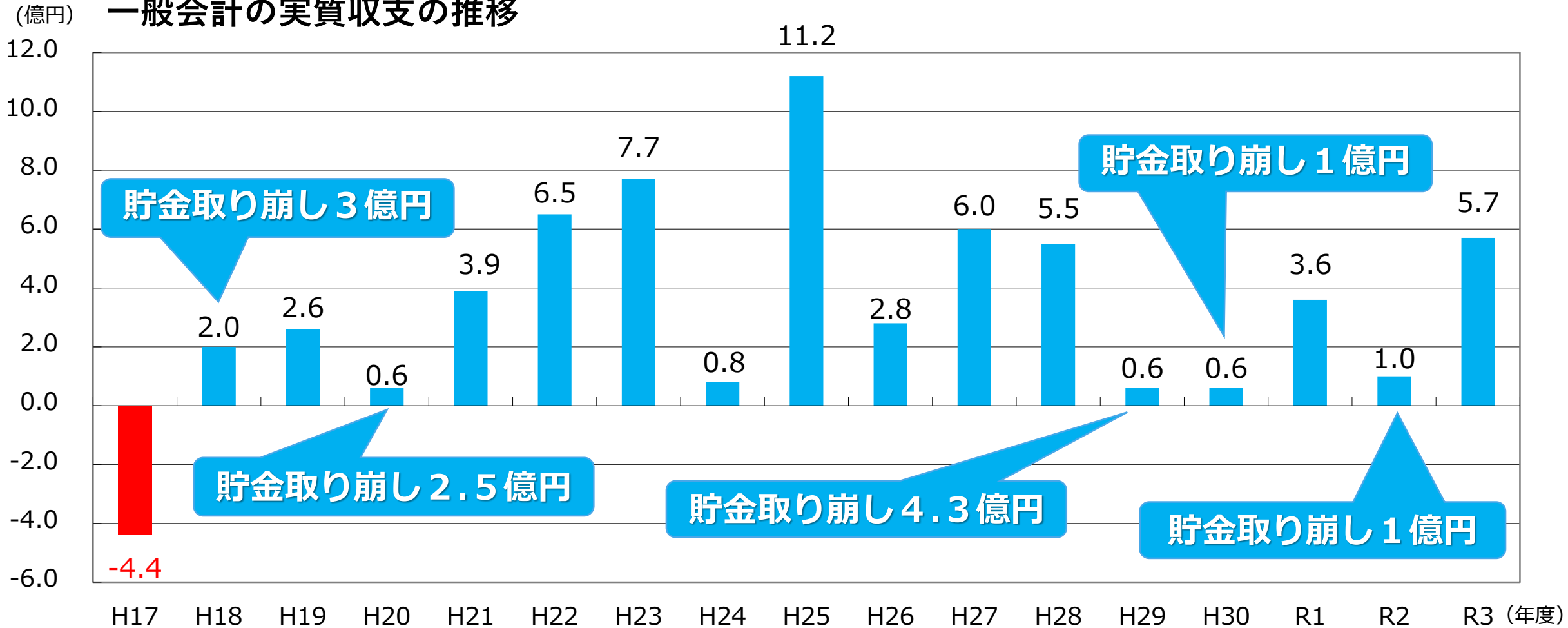
また、令和3年度は財源不足に伴う財政調整基金（市役所の貯金）からの取崩しを行わなかった（2年ぶり）。

★実質収支のイメージ図(収支が黒字の場合)



次のページでは、これまでの一般会計の収支の推移を見てみよう。

一般会計の実質収支の推移



一般会計の収支は年によってすごくデコボコがあるね。黒字のときはしっかり貯金をしなきゃだね。



羽曳野市の収支にデコボコがあるのは、市の総収入の中で、国や大阪府からもらえるお金の割合が高く、年によってもらえるお金が多かったり少なかったりして収入が安定しないことが理由のひとつとして考えられます。令和3年度がどうだったかは、次のページで見てみましょう。

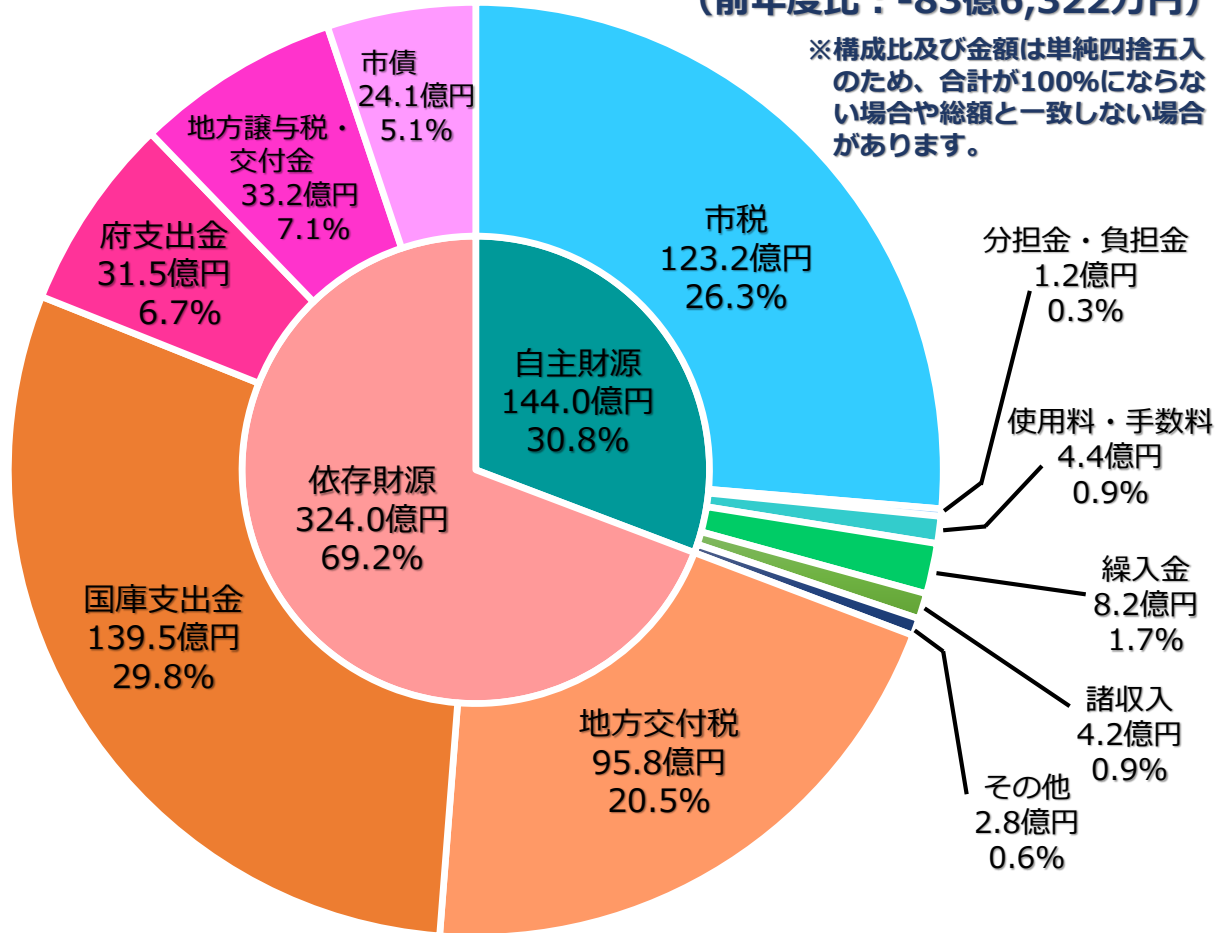


Q 4. 令和3年度の歳入の特徴を教えてください！

一般会計歳入内訳 (令和3年度決算)

総額：467億9,830万円
(前年度比：-83億6,322万円)

※構成比及び金額は単純四捨五入のため、合計が100%にならない場合や総額と一致しない場合があります。



令和3年度歳入決算の特徴

- 令和3年度の歳入総額は、467億9,830万円となり、前年度と比較すると、83億6,322万円の減少となった。
- これは、普通地方交付税（国からの仕送り）の増加などがあったものの、特別定額給付金などの新型コロナウイルス感染症対策事業にかかる国庫支出金の減少があったことによる。
- 依存財源である国庫支出金が大幅に減少したことや、自主財源である繰入金や分担金・負担金が増加したことを受けて、自主財源比率は30.8%となり、前年度に比べ5.2%上昇した。

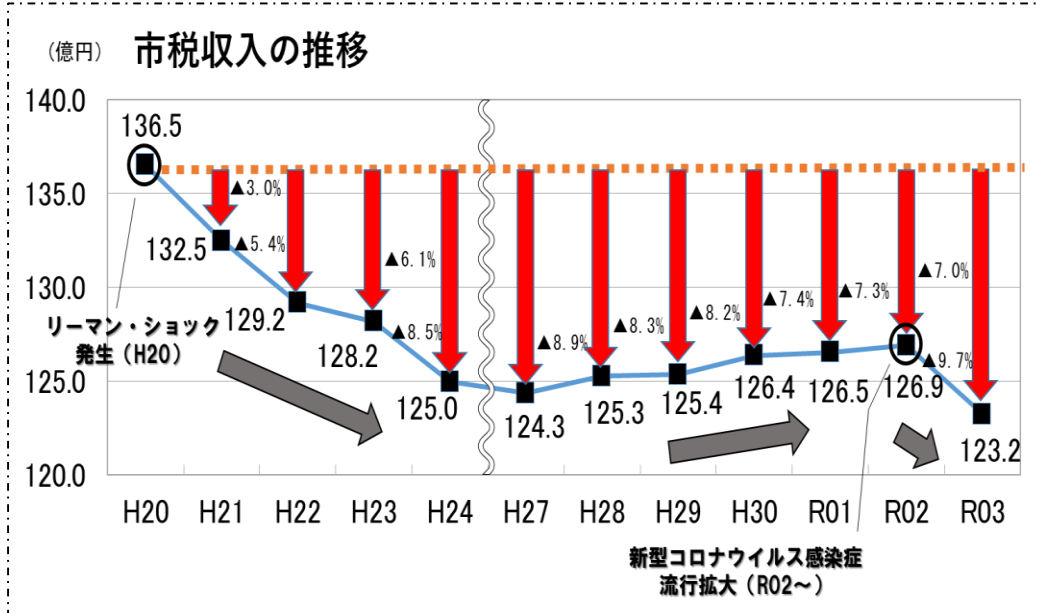
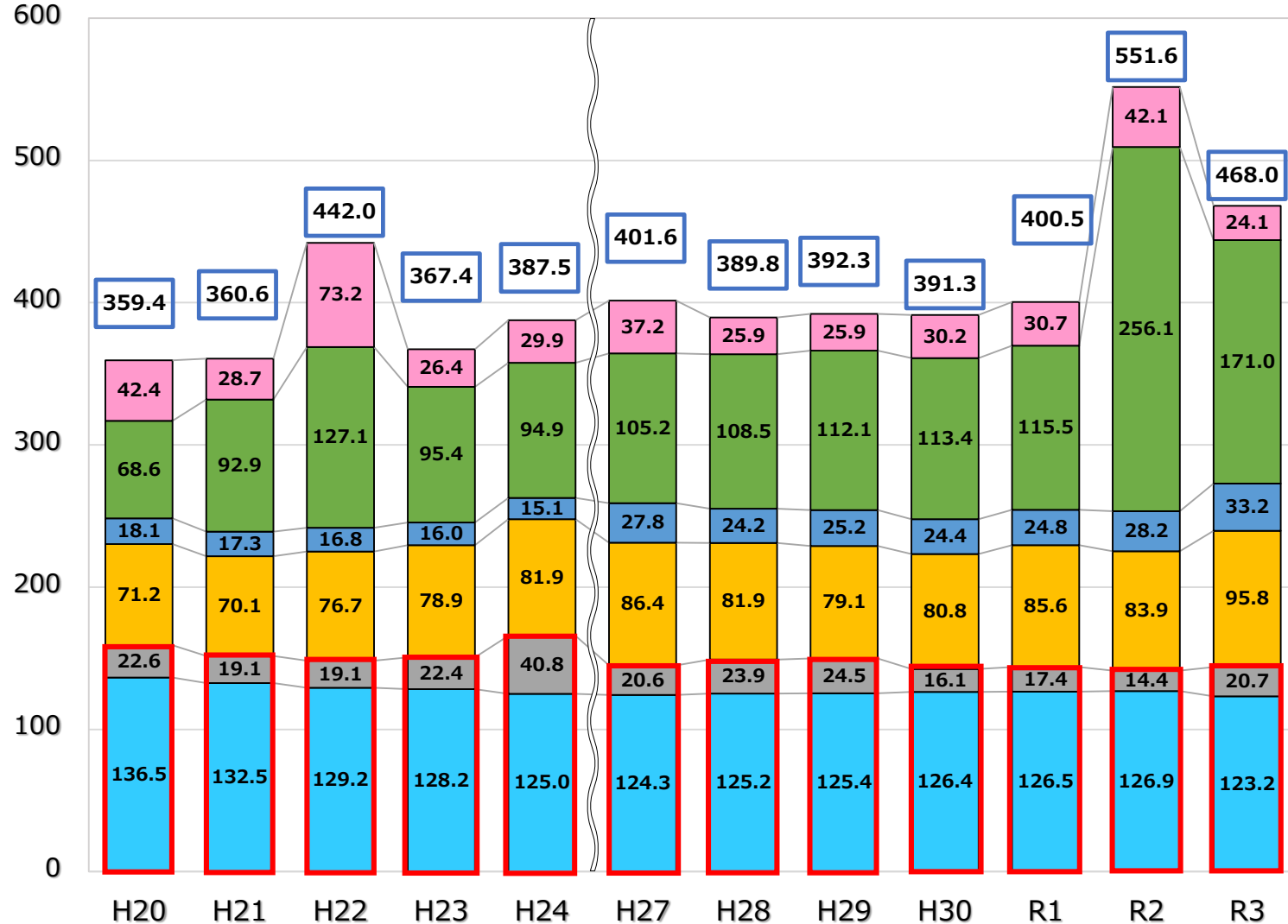


「自主財源」は市役所が自主的に集められるお金。
「依存財源」は国や大阪府からもらうお金などで、自主的には集められないもの。
「自主財源」が多いほど、自主的で安定的な仕事ができる。だから、「自主財源」をもっと増やせるようにしないとね。

一般会計の歳入の推移

は、自主財源

(億円) ■ 地方税 ■ その他 ■ 地方交付税 ■ 譲与税・交付金等 ■ 国・府支出金 ■ 地方債



平成20年度と比べて令和3年度の市税収入は約13億円減少したのに対し、地方交付税は約24億円増加しており、市財政の国への依存度は高まっています。市税収入はリーマン・ショック後に減収が続いた後、平成28年度以降は増加傾向が続いていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響などにより、令和3年度は減収に転じています。



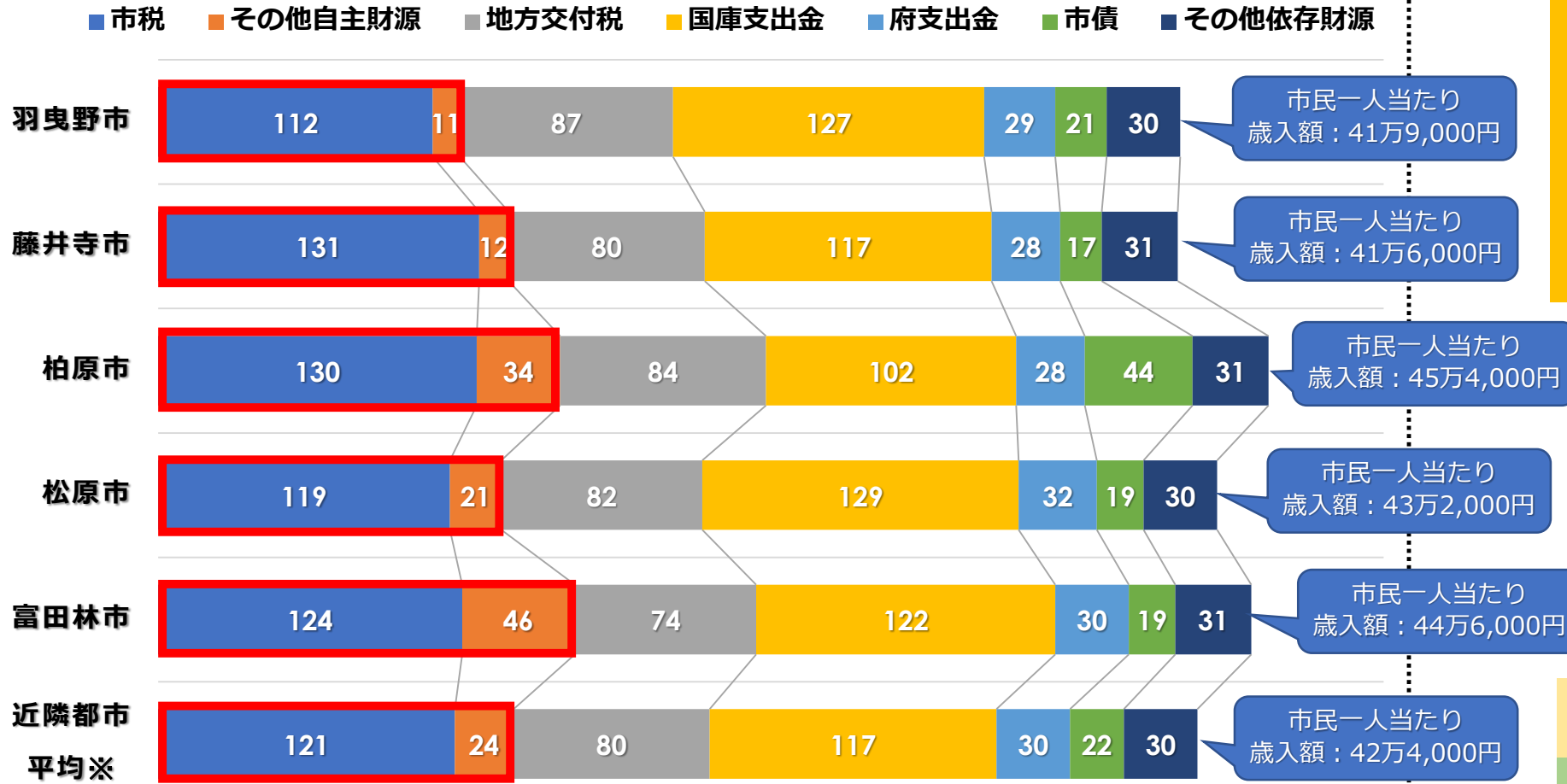
※端数処理の関係で合計等と一致しない場合があります。

市民一人当たりの歳入 隣接市・近隣都市平均との比較について

市民一人当たり歳入比較表（令和3年度決算・普通会計* / 政令市除く）

単位：千円

 は、
自主財源



普通会計とは？

「普通会計」とは、市町村ごとに会計の範囲や状況が異なることから、他の市町村との財政比較を行いやすくするため、一般会計とそれに近い性質の特別会計とを足し合わせるほか、各会計で重複するお金や、借金の借換に関する収入等を差し引いて算出します。羽曳野市では、「一般会計」と「土地取得特別会計」を合わせたものを「普通会計」としています。

羽曳野市は市民一人当たりの歳入額が少なく、周りの市よりも市民一人当たりの自主財源の額が低いみたい。どうしたら歳入が増えるのか、みんなで考えてみよう！

市民一人当たりの自主財源の額

近隣都市平均：14.5万円
羽曳野市：12.4万円
(近隣都市7市中7位)



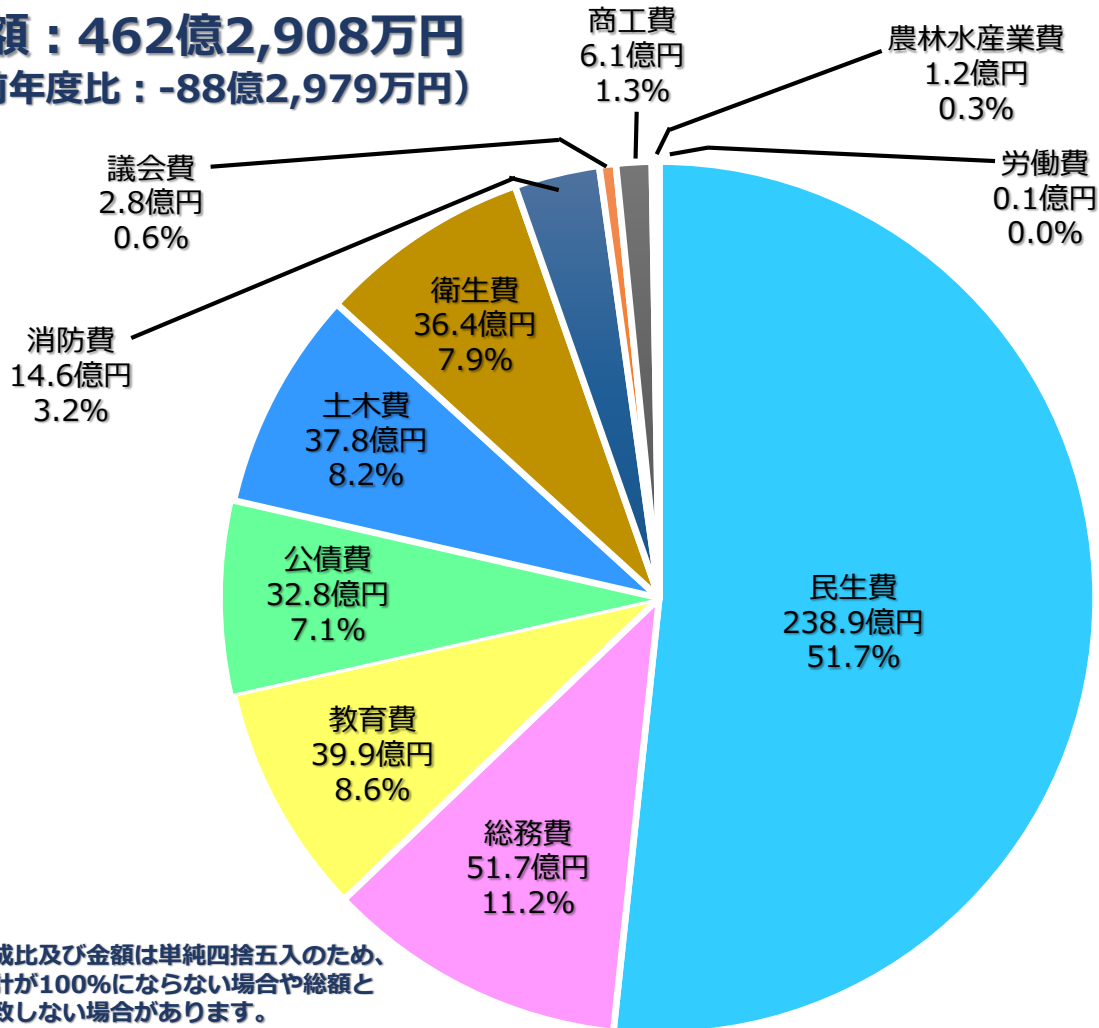
※端数処理の関係で合計等と一致しない場合があります。
※近隣都市平均は隣接市に河内長野市と大阪狭山市を加えた7市の加重平均です。



Q 5. 令和3年度の歳出の特徴を教えてください！

一般会計歳出（目的別）内訳（令和3年度決算）

総額：462億2,908万円
（前年度比：-88億2,979万円）



※構成比及び金額は単純四捨五入のため、合計が100%にならない場合や総額と一致しない場合があります。

歳出決算には、歳出を行政目的別に区分した「**目的別**」と、性質別に区分した「**性質別**」の2つの見方があります。
 家族の買い物で例えると、次のようになります。
 (例) 子どものために洋服を買う
 ⇒ ① 目的別：子どものために (民生費に計上)
 ② 性質別：洋服を買う (物件費 (11ページ参照) に計上)

令和3年度歳出決算（目的別）の特徴

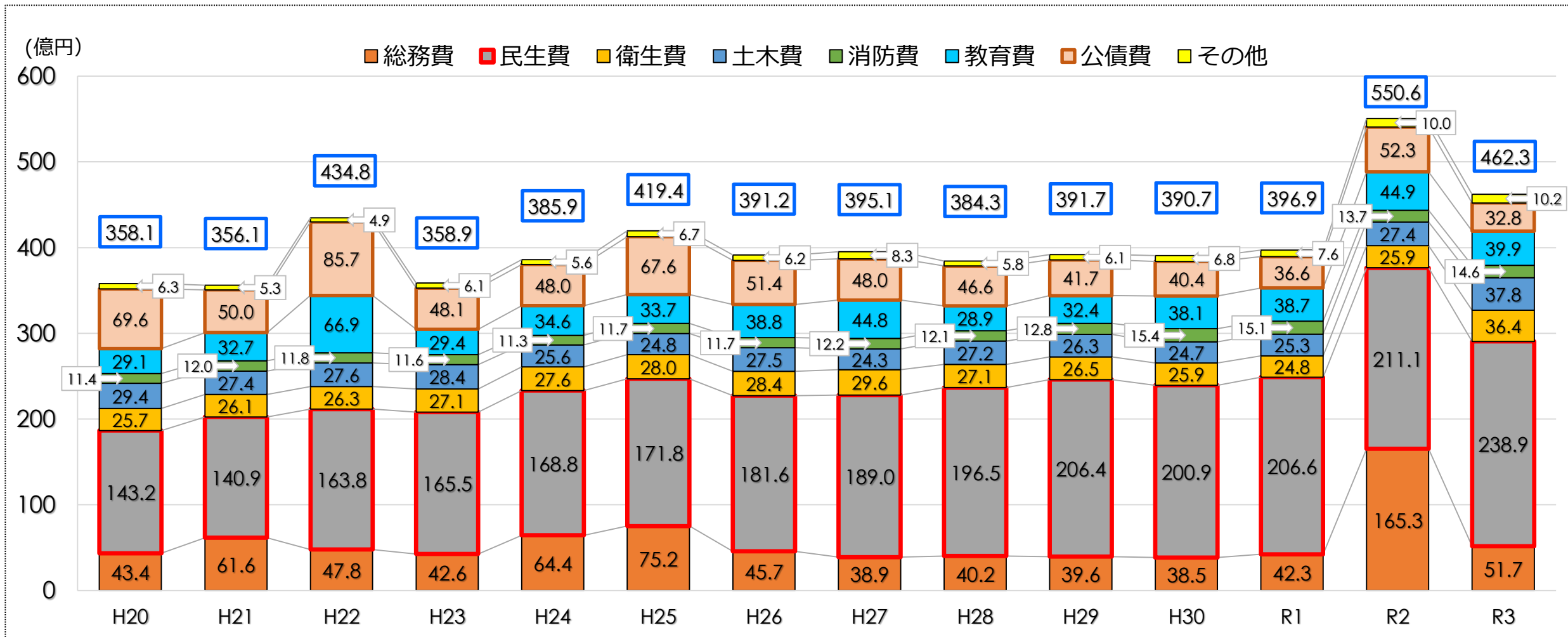
- 令和3年度の歳出総額は、462億2,908万円となり、前年度と比較すると、88億2,979万円減少した。
- 増加要因としては、子育て世帯や住民税非課税世帯等への臨時特別給付金、新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金による民生費の増加等がある。
- 一方、減少要因としては、特別定額給付金や羽曳野市民応援給付金の終了による総務費の減少等がある。



目的別費目の概要（主なもの）は、次のとおりです。

- 民生費：福祉や子育てなど
- 公債費：市役所の借金返済金
- 総務費：まちづくりや戸籍など
- 教育費：学校やスポーツなど
- 衛生費：健康やごみ処理など
- 土木費：道路や公園など
- 消防費：消防や防災など
- 商工費：観光や商業など

一般会計の歳出（目的別）の推移



※端数処理の関係で合計等と一致しない場合があります。



平成20年度と比べて令和3年度の民生費は高齢化の進行や子育て施策の充実などを受けて約95.7億円の増となっています。一方、公債費は約36.8億円の減となっています。なお、R3公債費のうち1.3億円は過去の借金の借換に伴うもので、それを差し引くと公債費は31.5億円になります。

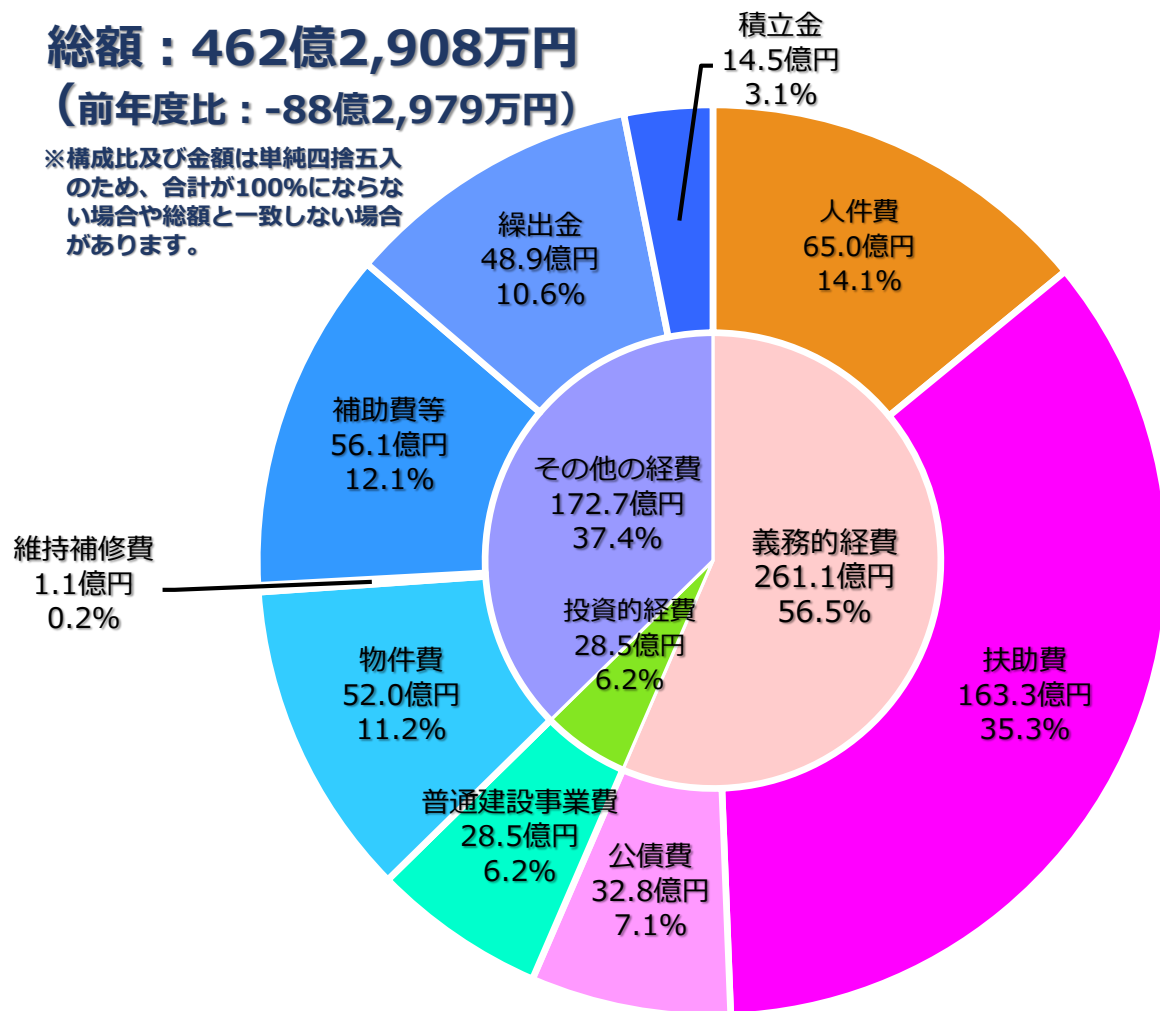
最近では、福祉や子育てなどにかかる費用が増加し、市役所の借金返済に充てるお金が減少したんだね。



一般会計歳出（性質別）内訳（令和3年度決算）

総額：462億2,908万円
（前年度比：-88億2,979万円）

※構成比及び金額は単純四捨五入のため、合計が100%にならない場合や総額と一致しない場合があります。



性質別経費は、大きく分けて「義務的経費」、「投資的経費」、「その他の経費」の3つに分けられます。

このうち、制度的に支出が義務付けられている「義務的経費」の割合が高いほど、財政の柔軟性を欠き、財政健全化が図られにくいとされています。

令和3年度歳出決算（性質別）の特徴

- ・令和3年度の増加要因としては、子育て世帯や住民税非課税世帯等への臨時特別給付金、新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金による扶助費の増加等がある。
- ・一方、減少要因としては、特別定額給付金や羽曳野市民応援給付金の終了による補助費等の減少等がある。
- ・この結果、歳出全体では前年度より88億2,979万円の減少となった。歳出全体は大幅に減少したものの、扶助費が増加したことで義務的経費が前年度より9.5億円増加しており、これにより義務的経費の割合は前年度より2.1%増え、財政の硬直化はさらに進行している。

性質別費目の概要は、次のとおりだよ。

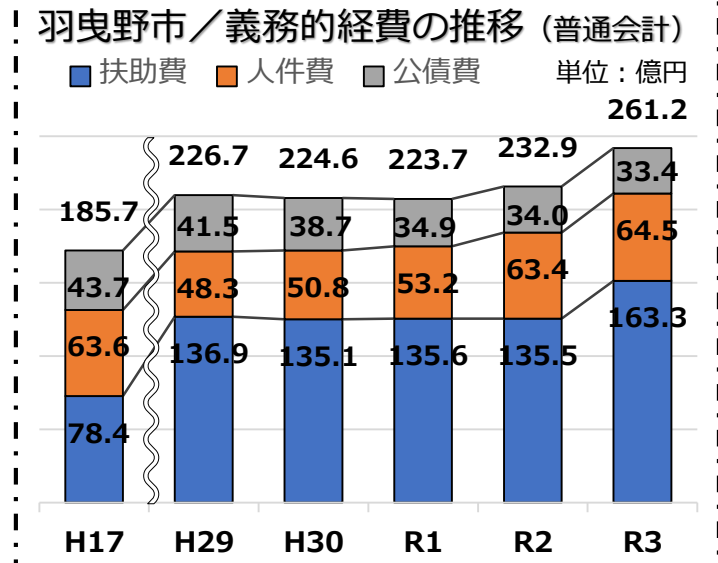
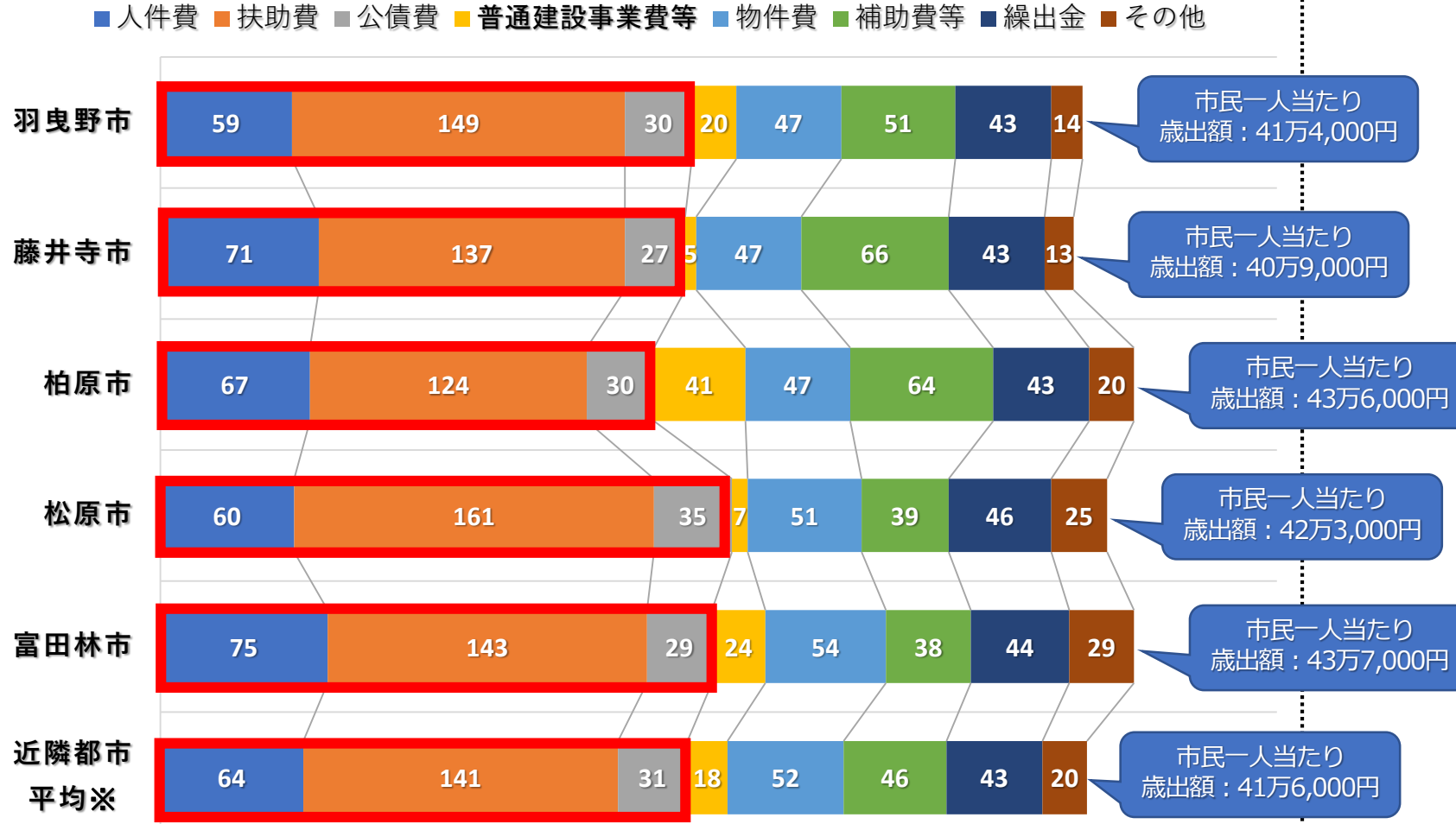
- ・人件費：職員の給料、退職手当などに係る経費
- ・扶助費：児童、高齢者、障害者に対する支援に係る経費
- ・公債費：市役所の借金の返済に係る経費
- ・普通建設事業費：道路、学校などの施設の建設に係る経費
- ・災害復旧事業費：災害で被害を受けた施設の復旧に係る経費
- ・物件費：施設管理等の委託料や消耗品、備品等に係る経費
- ・維持補修費：施設の維持補修に係る経費
- ・補助費等：一部事務組合や公営企業等に対する補助に係る経費
- ・繰出金：国保、介護などの特別会計への仕送りに係る経費
- ・積立金：基金（市役所の貯金）への積み立てに係る経費



市民一人当たりの歳出（性質別） 隣接市・近隣都市平均との比較について

市民一人当たり歳出比較表（令和3年度決算・普通会計／政令市除く）

単位：千円 は、義務的経費



羽曳野市は義務的経費の割合が高く、その中でも「扶助費」の割合が高いね。最近では「人件費」が増加し、「公債費」が減少してるみたい。どうすれば少しでも義務的経費を抑えることができるかな～？

歳出総額に占める義務的経費の割合（普通会計）

近隣都市平均：56.7%

羽曳野市：57.6%

（近隣都市7市中5位）

（この割合が高いほど財政健全化がしにくい）



※端数処理の関係で合計等と一致しない場合があります。
 ※近隣都市平均は隣接市に河内長野市と大阪狭山市を加えた7市の加重平均です。

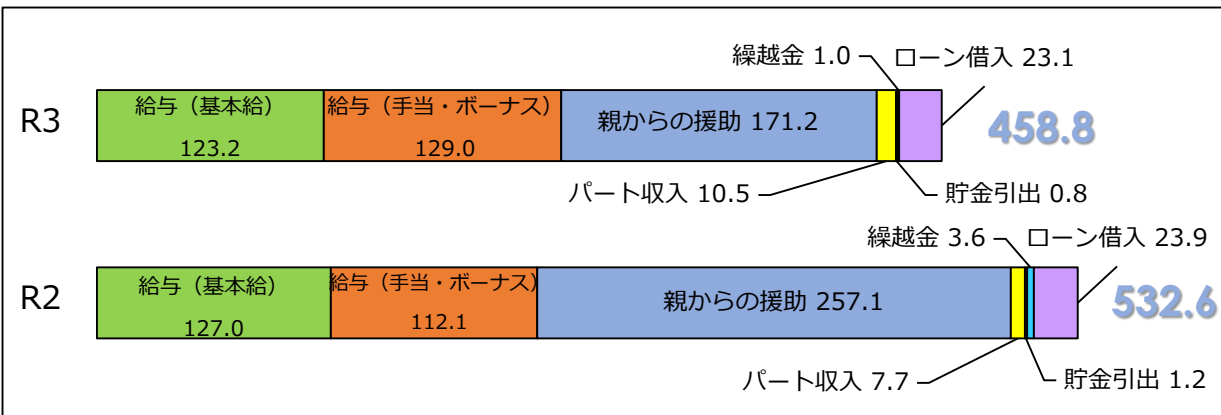




羽曳野市の家計簿はどのようになっているのかな。どのような特徴があるか一緒に見てみよう。

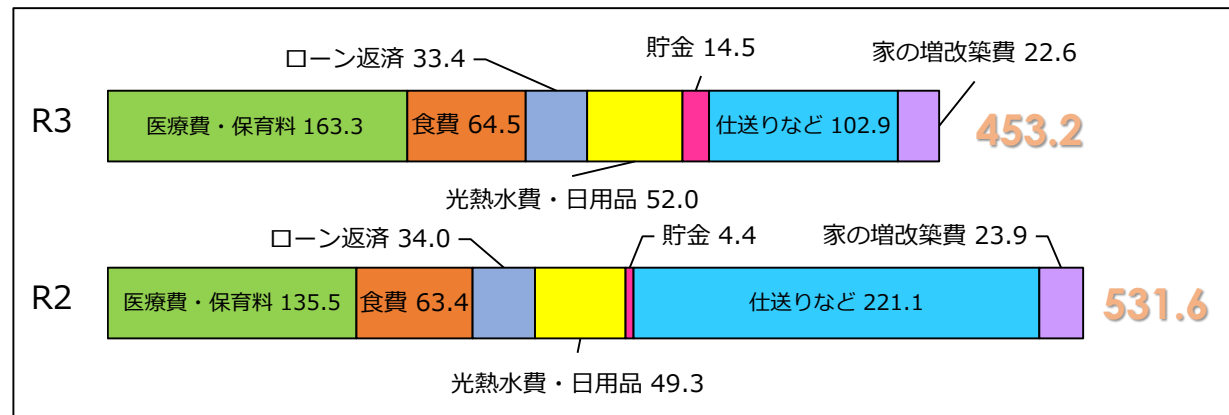
<収入> (普通会計)

(単位：億円)



<支出> (普通会計)

(単位：億円)



家計簿の項目	歳入科目	説明
給与(基本給)	地方税	市民から納められる税金
給与(手当・ボーナス)	地方交付税、譲与税など	税金の不足を補うために国から配分されるお金など
親からの援助	国庫支出金、府支出金	国や大阪府から支払われるお金
パート収入	使用料・手数料、寄附金など	施設の使用料や行政サービスの利用料、ふるさと寄附金など
貯金引出	繰入金	積み立ててきたお金の取り崩し
繰越金	繰越金	前年度からの繰越金
ローン借入	地方債(臨財債(16頁参照)含む)	施設の建設費用などのための借入金

家計簿の項目	歳出科目	説明
医療費・保育料	扶助費	子どもや障がい者や生活困窮者を支えるためのお金
食費	人件費	職員の人件費
ローン返済	公債費	過去の借入金の返済費用
光熱水費・日用品	物件費	施設の光熱水費、業務委託料、物品の購入費
貯金	積立金	将来に備えて積み立てておくお金
仕送りなど	繰出金・補助費等	国民健康保険や介護保険、下水道などのために負担するお金
家の増改築費	投資的経費	道路などのインフラや学校・体育館などを建設するお金



○収入では、給与は基本給が少し減り手当・ボーナスは増えているけれど、親からの援助が大きく減っているね。これは国の特別定額給付金事業のための国庫支出金がなくなったことが大きな要因となっているね。この他、パート収入が増えて貯金引出やローン借入が減っていることが見て取れるね。

○支出では、国の子育て世帯や住民税非課税世帯等への臨時特別給付金、新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金等により医療費・保育料が大きく増えているものの、特別定額給付金事業のための仕送りが大幅に減少しているよ。また、ローン返済に毎年約33~34億円かかっていることに加え、家の増改築は毎年約23~24億円かかっているね。毎年貯金もできているけれど、支出全体に占める貯金の割合は低く、施設の老朽化などの課題に対応するためには、もう少し貯金しておく必要があるかもしれないね。



Q 6. 令和3年度に行った主なお仕事を教えて！



令和3年度に行った代表的な仕事を紹介します。

新型コロナウイルスワクチンの接種を完了された方に
「お疲れさま」「ありがとう」の気持ちを込めてお渡しします。

Thanks.グッジョブチケット
GOOD JOB!

おひとり：商品券2,000円分(500円券×4枚)

対象対象
羽曳野市に住民票がある16歳以上、新型コロナウイルスワクチンの接種を2022年1月31日(月)までに2回受けられた方。

受取方法
市民の皆さまの自由に「健康クーポン券」内の「学童給食費減免」または「医療従事者用の「健康記録簿」を後援後【2022年度】に受取場所にご持参ください。

受取期間
2021年6月1日(火) → 2022年1月31日(月)
2021年6月1日(火) → 2022年2月28日(月)

受取場所
羽曳野市庶務課をはじめ、市内に15ヵ所程度の受取場所を設けます。受取場所は、商工会のWEBサイト等で5月中旬にご案内いたします。

羽曳野市の「Thanks.グッジョブチケット」取扱店をご利用いただけます。(取扱店は、商工会のWEBサイト等で5月中旬にご案内いたします。)

●新型コロナウイルス感染症対策事業【51億1,852万円】

- ・新型コロナウイルスワクチン接種事業、子育て世帯等臨時特別給付金事業、小学校給食無償化事業、中学校給食半額化事業、地域活性化(ワクチン接種者商品券配布)事業補助事業 など



●向野こども園の整備と登園管理システム導入【5億413万円】

- ・市立幼保連携型認定こども園「向野こども園」整備工事(令和4年4月開園)
- ・保護者との情報共有の円滑化等を図るため登園管理システムの導入準備を実施 など

●子ども医療費助成制度の対象年齢拡大【4,857万円】

- ・子ども医療助成制度において従来0歳から15歳までを対象年齢としていたものを0歳から18歳までに拡大

羽曳野市子ども医療費助成制度の対象年齢を

令和3年 4月から **18歳**まで拡大します
※18歳になった後の最初の3月31日まで

●羽曳野市では、令和3年4月から子ども医療費助成制度の対象年齢を拡大し、18歳までの子どもの医療費を助成します。

令和3年3月診療まで 15歳到達後の最初の3月31日まで → 令和3年4月診療から対象年齢を拡大します 18歳到達後の最初の3月31日まで

●この制度により、医療費のお支払いは1日500円までとなります。

●世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」環境整備事業及び古墳保存整備事業【2億1,401万円】

- ・世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」の価値等を発信するための環境整備
- ・史跡地の公有化や発掘調査の実施
- ・古市古墳群保存活用計画策定に着手 など

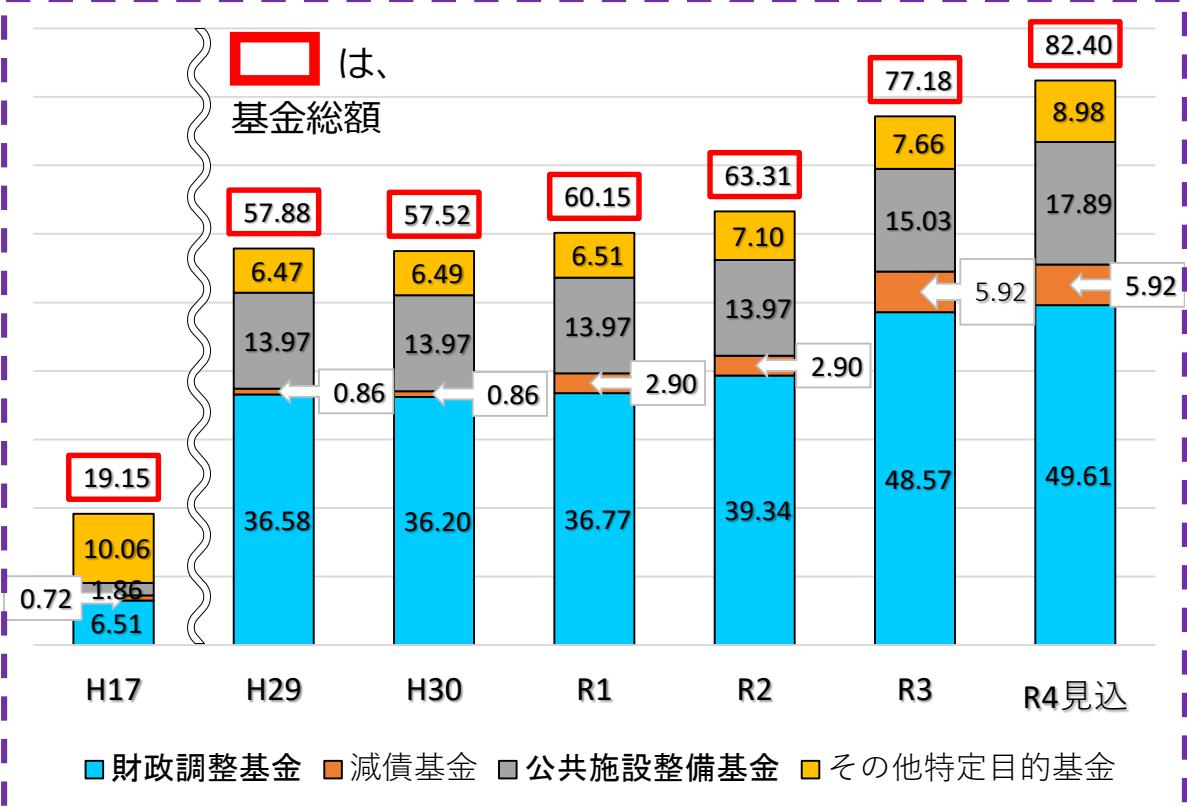




Q7. 羽曳野市にはどれくらい貯金があるの？

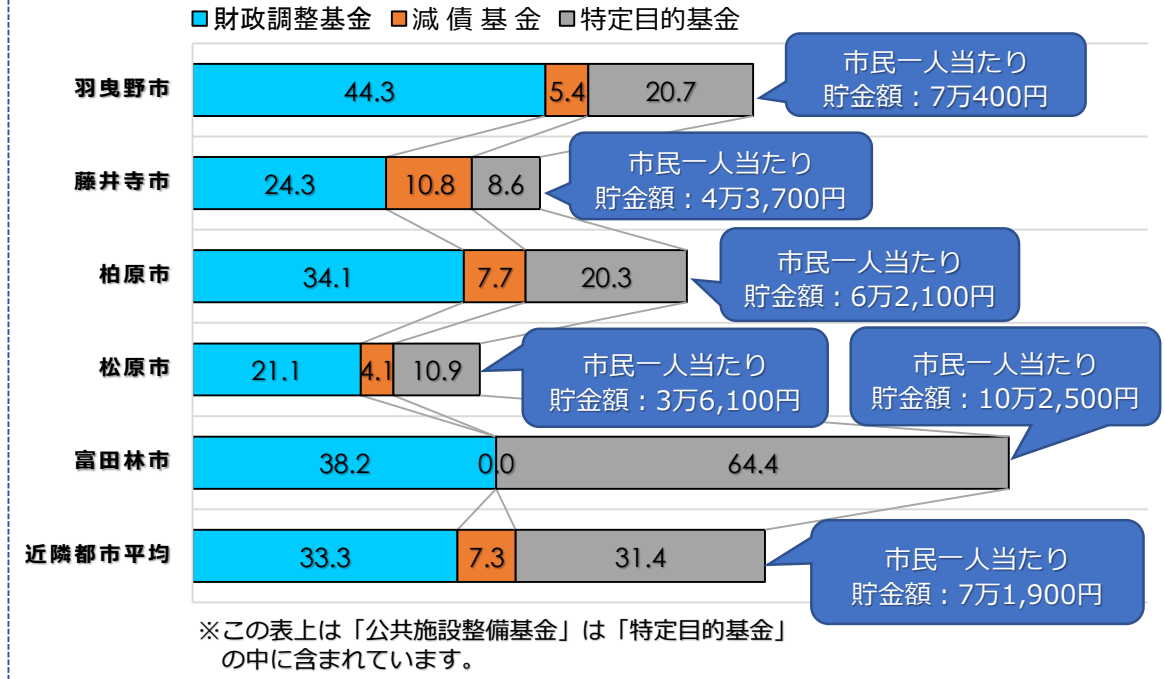
基金（貯金）残高の推移

単位：億円



(参考) 市民一人当たりの基金残高 隣接市・近隣都市平均との比較表 (令和3年度決算/ 政令市除く)

単位：千円



- 財政調整基金：年度間の収支のデコボコを調整するための貯金
- 減債基金：市債の返済に備えて積み立てる貯金
- 公共施設整備基金：公共施設の整備や改修に充てるための貯金
- その他特定目的基金：福祉、教育、まちづくりなど、特定の目的のために積み立てられる貯金



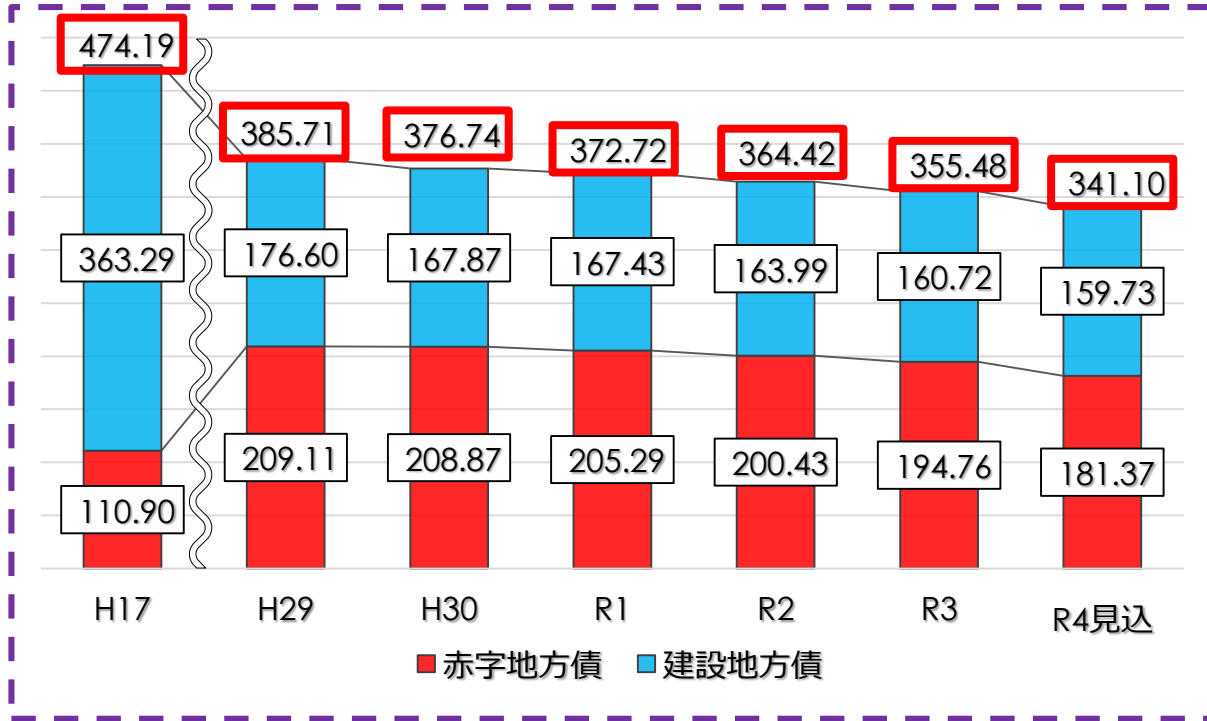
基金(貯金)残高は、財政健全化計画の着実な実行等に伴い積立額が増加しているね。特に財政調整基金は「毎年収入が見込まれる税金や交付税などのお金の平均的な金額」(標準財政規模)の20%程度を目標に積み立ててきたところで、羽曳野市の標準財政規模は約247億円とその20%は約49億円となり、R4年度の見込みは49.61億円なので、ようやく目標に届きそうだね。今後は公共施設の老朽化による更新対応などが控えていて、そのために大きく取り崩さなければならないことも考えられるから、この取り組みの継続が必要だね。



Q 8. 羽曳野市にはどれくらい借金があるの？

市債（借金）【普通会計】残高の推移

単位：億円



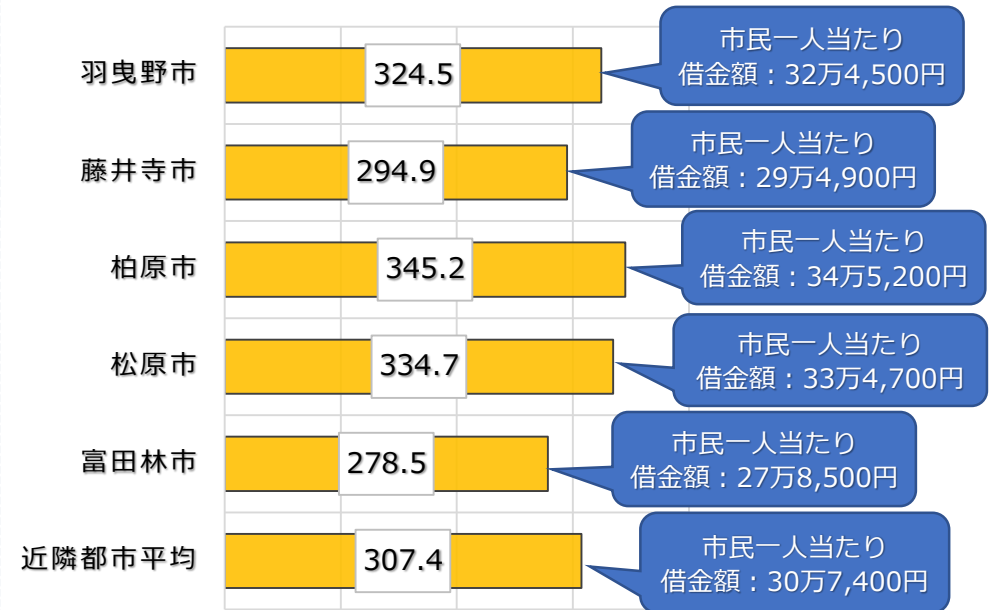
□ は、
借金総額



- 赤字地方債：臨時財政対策債*、退職手当債等をいう。
 - 建設地方債：道路や公共施設を建設するために借りる借金。市債を借り、その施設の耐用年数の期間に渡って借金返済をすることで、その施設を使用する人たちの世代間の公平性を確保する。
- ※臨時財政対策債：国が地方に支払うべき地方交付税の財源が不足しているため、地方自治体に交付税の代わりに発行させる赤字地方債。後年度その元利償還金の全額に相当する額が地方交付税としてもらえる。

(参考) 市民一人当たりの市債残高 隣接市・近隣都市平均との比較表 (令和3年度決算/ 政令市除く)

単位：千円



※この表上は、赤字地方債、建設地方債を含む市民一人当たりの金額を表しています。



市債（借金）残高は、その年の新規借入額を原則その年の元金償還額以下とするような運用をしているため、特に建設地方債は着実に減少しているね。だけど、他市に比べるとまだまだ高い水準だね。国の財源不足による臨財債の残高も高い水準にあり、1,200兆円を超える国の借金残高のことを考えると、市の自主財源を多くして、少しでも臨財債の借入額を減らす努力が必要だね。

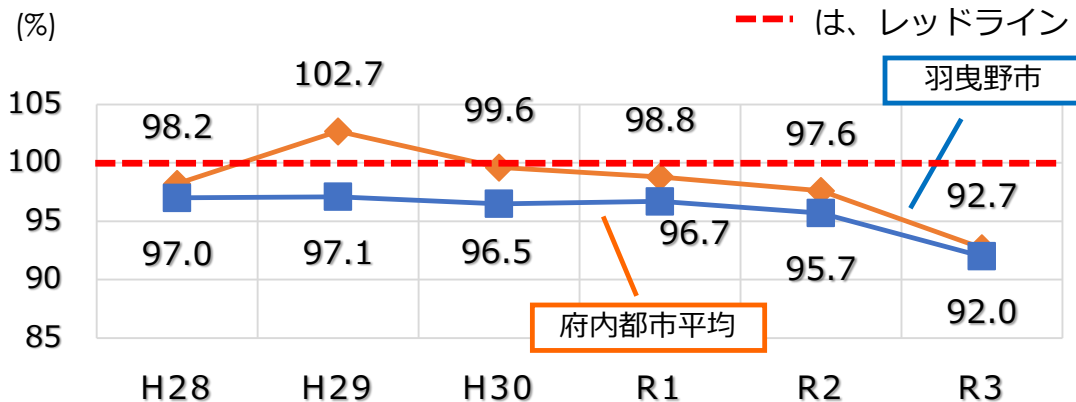


Q 9. 羽曳野市の財政状況は大丈夫なの？



市役所の財政状況は「経常収支比率」、「実質公債費比率」、「将来負担比率」などの財政指標で診断することができます。

経常収支比率の推移

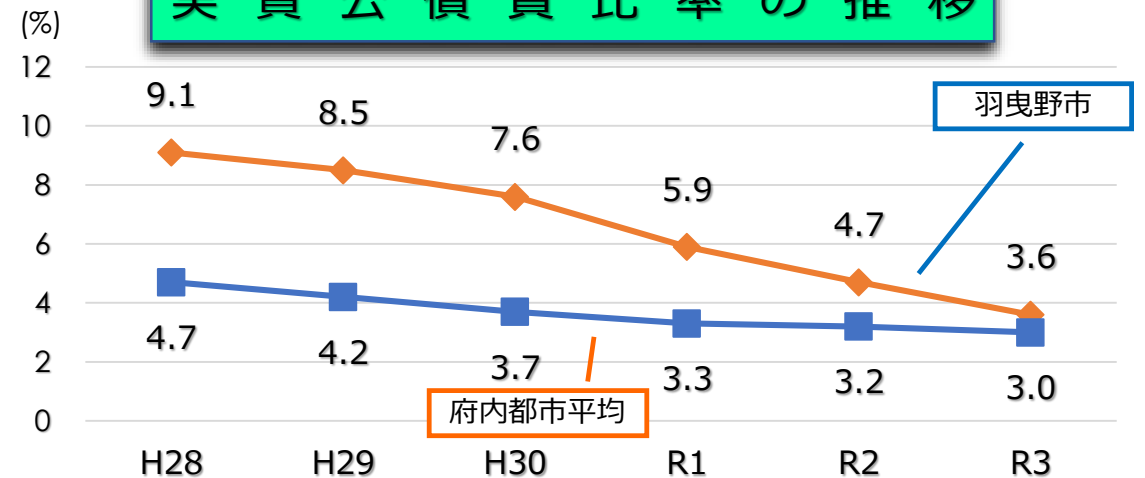


令和3年度の経常収支比率は、92.7%（前年度比▲4.9%）となりました。4年連続の改善となっているものの、令和3年度は普通交付税の追加交付などの一過性の要因が大きく、依然として高い割合であることに変わりないことから、今後も引き続き経費削減に努める必要があります。

経常収支比率とは （※低い方が良い）

地方公共団体の財政の弾力性（自由度）を判断するための指標です。市税や地方交付税など毎年経常的に入ってくる使い道が決まっていない自由に使えるお金が、人件費、扶助費、公債費など毎年経常にかかる経費にどれだけ充てられるかを示します。この比率が100%を超えると、経常的な収入では経常的な支出をまかなえていないことを表します。

実質公債費比率の推移

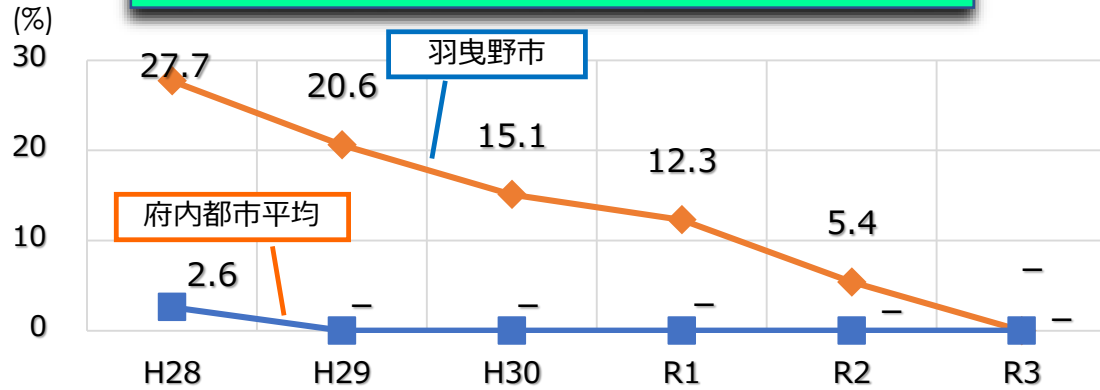


令和3年度の実質公債費比率は、3.6%（前年度比▲1.1%）となりました。これは、「LICはびきの」などの大型公共施設に係る借金の返済が減少していることや、この間の財政健全化計画に基づき、新たな借金の借入を抑制していることなどによります。とはいえ、まだまだ府内都市平均よりも高い水準となっているため、今後は自主財源の確保に努め、臨時財政対策債といった赤字地方債に過度に依存しない財政体質を目指していく必要があります。

実質公債費比率とは （※低い方が良い）

地方公共団体の借金返済額の負担の大きさを表す指標です。年間の収入の規模に占める年間の借金返済額の割合を表します。この比率が18%を超えると新たに借金をするのに大阪府の許可となります。

将来負担比率の推移



※将来負担額を充当可能財源等が上回っている年度は「-」で示しています。

令和3年度の将来負担比率は、「-」となりました。

これは、「LICはびきの」などの大型公共施設に係る借金残高が減少していることや、この間の財政健全化計画に基づき、新たな借金の借入を抑制していることなどによります。一方、下水道事業会計への補助見込額などについては高い水準であることから、下水道事業との調整も含め、将来に過度の負担を残さないように、身の丈に合った財政運営に努める必要があります。

将来負担比率とは (※低い方がよい)

地方公共団体が将来支払うべきお金の大きさをはかる指標です。年間の収入の規模に対する一般会計の借金残高や下水道事業等への借金返済のための補助金の将来見込み額など、市役所が将来に支払わなければならないお金の割合を表します。この比率が350%を超えると国や大阪府の管理の下、「財政健全化計画」を作成し、市民サービスを抑えるなどをして財政の健全化を図ることになります。



借金の返済については、これまでの取組みの成果が現れているね。
じゃあ、これからの見込みはどうなのかな？

羽曳野市の財政状況について

- ・平成18年度以来16年連続黒字を確保しており、令和3年度は財政調整基金（貯金）の取り崩しをせずに黒字決算を確保した。
- ・これは歳入において特別定額給付金などの国庫支出金が減少した一方で地方交付税が追加交付により増加したことや、歳出において子育て世帯や住民税非課税世帯への臨時特別給付金等の扶助費が増加したが特別定額給付金による補助費等が減少したことによるものである。
- ・また、普通交付税の追加交付等を受け経常収支比率が前年度より改善したがこれは一過性の要因であり、扶助費が高止まりし、人件費も増加していることから、公債費（借金返済）が減少してきているとは言え、今後も財政の硬直化に対し注視が必要である。
- ・さらに、本市においては市役所本庁舎や給食センターの建替をはじめとした公共施設の更新に多額の費用が見込まれている。人口減少も加速しているため、公共施設等の集約化・長寿命化を行うとともに、事業の見直し、自主財源の確保などを集中的に行う必要がある。



このほかにも、羽曳野市の資産や負債といったストックに関する情報などについては、「地方公会計制度に基づく財務書類」で分析しているよ。

【地方公会計制度に基づく財務書類については、こちらのページをご覧ください。】

次のページでは、羽曳野市のこれからの財政収支の見通しを見てみよう。

羽曳野市の今後の財政収支見通し

羽曳野市／普通会計 中期財政収支見通し

(単位：億円)

区 分		R4	R5	R6	R7	R8
収 入	市 税	126.68	127.75	126.50	126.55	126.62
	地 方 交 付 税	90.47	87.30	88.24	88.16	87.33
	そ の 他	226.17	181.76	185.56	190.64	229.90
収 入 合 計 (A)		443.32	396.81	400.30	405.35	443.85
支 出	人 件 費	64.12	64.46	64.17	63.27	63.94
	扶 助 費	142.57	141.57	142.28	142.71	143.14
	公 債 費	34.51	34.40	33.72	33.55	33.64
	普通建設事業費	26.29	13.08	18.08	23.32	58.62
	そ の 他	177.07	147.62	149.55	152.17	155.25
支 出 合 計 (B)		444.56	401.13	407.80	415.02	454.59
収 支 (A) - (B)		-1.24	-4.32	-7.50	-9.67	-10.74

※令和5年度以降は財政調整基金（貯金）の取り崩しを見込んでいません。



財政調整基金を取り崩さないで、赤字はどんどん膨らんでいく見通しだね。原因は、

- ① 人口が減ることによって市税が減る
- ② 高齢化などによって扶助費は増加する
- ③ 老朽化した公共施設等の更新にもお金がかかる
などが考えられるよ。

うわ～！大変だ～！
このままいって貯金が無くなったときはどうなっちゃうんだろう。
こうならないようにはどうすればいいのかな？





もう一步踏み込んで、一般会計以外の会計の状況も見てみよう！！

(単位：億円)

会計	年度	収入 (収益)	うち 一般会計 繰入金	支出 (費用)	収支	説明
国民健康保険 特別会計	R3	130.8	12.3	129.1	1.7	◇収入は前年比5.6億円の増加。府支出金（普通交付金の保険給付費等交付金）の増加が主な要因。
	R2	125.2	12.4	123.2	1.9	◇支出は前年比5.9億円の増加。被保険者の減少の一方で、支給件数の増加により、一般被保険者療養給付費が増加したことが主な要因。
	差引	5.6	▲0.1	5.9	▲0.2	◇収支は1.7億円の黒字で前年比0.2億円の減少となっている。
介護保険 特別会計	R3	111.4	17.1	109.4	2.0	◇収入は前年比1.6億円の増加。令和2年度の介護保険給付費が計画値よりも伸びず財源となる保険料が余剰金として増加したことにより繰越金が増加したことが主な要因。
	R2	109.8	16.6	105.2	4.6	◇支出は前年比4.2億円の増加。居宅介護サービス給付費などの保険給付費の増加が主な要因。
	差引	1.6	0.5	4.2	▲2.6	◇収支は2.0億円の黒字で前年比2.6億円の減少となっている。
後期高齢者医療 特別会計	R3	19.4	3.9	18.8	0.6	◇収入は前年比0.3億円の増加。被保険者数の増加により後期高齢者医療保険料が増加したことが主な要因。
	R2	19.1	3.9	18.5	0.6	◇支出は前年比0.3億円の増加。被保険者数の増加に伴い後期高齢者医療保険料の収入が増えたことなどにより後期高齢者医療広域連合納付金が増加したことが主な要因。
	差引	0.3	0.0	0.3	—	◇収支は0.6億円の黒字で前年比0億円となっている。
と畜場 特別会計	R3	0.6	0.6	0.6	—	◇収入は前年比4百万円の増加。修繕費や設備設計委託料、施設管理業務委託料の増加に伴う一般会計繰入金の増加が主な要因。
	R2	0.6	0.6	0.6	—	◇支出は前年比4百万円の増加。老朽化による突発の修繕費や設備設計委託料の増加、HACCP（ハサップ）導入による水質検査追加に伴う施設管理業務委託料の増加が主な要因。
	差引	0.0	0.0	0.0	—	◇収支は0億円で前年比も0億円となっている。



(単位：億円)



会計	年度	収入 (収益)	うち 一般会計 繰入金	支出 (費用)	収支	説明
水道事業会計	R3	23.1	0.0	18.5	4.6	◇収益は前年比1.1億円の増加。前年度に実施した新型コロナウイルス感染症に伴う基本料金の減免を本年度は実施しなかったことによる給水収益の増加が主な要因。
	R2	22.0	0.0	19.1	2.9	◇費用は前年比0.6億円の減少。雑支出、職員給与費、委託料などが減少したことが主な要因。
	差引	1.1	0.0	▲0.6	1.7	◇収支の状況等から経営の健全性を分析してみると、経常費用が経常収益によってどの程度賄われているかを示す経常収支比率は100%を超え、流動資産から流動負債を控除した運転資金は企業債残高を上回っていることから、健全性は確保されていると言える。
下水道事業会計	R3	32.4	9.3	28.5	3.9	◇収益は前年比1.1億円の減少。分流式下水道に要する利子等の資本費が減少したことによる他会計補助金の減少が主な要因。
	R2	33.5	10.0	29.5	4.0	◇費用は前年比1.0億円の減少。支払利息及び企業債取扱諸費の減少、維持補修にかかる工事がなかったことによる管渠費の減少が主な要因。
	差引	▲1.1	▲0.7	▲1.0	▲0.1	◇現状は汚水処理にかかる経費を下水道使用料だけでは賄えておらず、基準外繰入金に依存する状況が続いている。さらに今後、人口減少や節水器具の普及により使用料収入の減少が見込まれ、また、管路や施設の老朽化により更新・維持にかかる費用は増加していくと考えられる。そのため、令和2年度に策定された「下水道事業経営戦略」の推計結果をふまえ、令和5年4月1日より下水道使用料が改定されるが、依然として経営環境は厳しい状況が続くと予想されるため、将来に渡って下水道サービスを持続的・安定的に提供できるよう経営基盤の強化が求められる。



Q10. これからの羽曳野市に必要なことはナニ？



これからも引き続き「行財政改革」の取り組みが必要です！

羽曳野市では、行財政改革に取り組むための指針として「羽曳野市行財政改革大綱」を策定しています。19ページのような財政状況にならないように、これからも引き続き、財政の健全化に取り組んでいきます。

《優先して取り組むべき課題》

1. 脆弱な財政基盤と社会保障費等の増加
2. 公共施設における将来コストの増大
3. 市民ニーズの多様化・高度化



《改革の基本項目》

1. 持続可能な行財政運営の確立
⇒ 自主財源の確保、事務事業の見直し、職員数の適正管理など
2. 人材の育成と組織の変革
⇒ 人事評価制度、職員研修の充実、組織力の強化など
3. 公共施設マネジメントの推進
⇒ 公共施設の最適化、財政負担の平準化と維持管理費の縮減
4. 市民協働によるまちづくりの推進
⇒ 市民参画の推進、情報の積極的な公開と情報共有の推進など
5. 外郭団体等の改革
⇒ 外郭団体、一部事務組合の改革

※「行財政改革」について詳しくは、次のページを参照してください。
<https://www.city.habikino.lg.jp/soshiki/shichou/seisakukikaku/gyokaku/kaikaku/1965.html>

令和3年度の行財政改革の主な実績

これからもガンバって！



持続可能な行財政運営の確立

◇固定資産税(償却資産)の適正課税

【効果：期日後申告額 1,910万円 (R3)】

無申告法人等への申告の催告、新築家屋評価時の商業施設等への申告依頼などを実施

◇ふるさと納税の拡充

【効果：ふるさと納税寄附金 1億462万円 (R3)】

ふるさと納税返礼品出品者の新規開拓や返礼品の追加、SNS (Facebook、Twitter、Instagram) を活用した積極的な情報発信、近隣自治体の情報収集などを実施

◇契約方法の改善

【効果：適正な契約事務に対する職員の意識向上】

随意契約ガイドライン及び設計変更ガイドラインの作成

◇選挙投票事務等の見直し

【効果：人件費の削減等】

人材派遣員の活用による人件費の削減、選挙人受付事務に使用するバーコードリーダー処理の導入箇所拡充（2箇所→5箇所）

人材の育成と組織の変革

◇指定管理者制度の拡充

【効果：指定管理者制度を活用した施設の効率的・効果的な運営の促進】

指定管理者選定委員会の適正な運営事務を実施するとともに、導入施設数を増加（14⇒16）

◇RPAシステム等の導入

【効果：業務のさらなる効率化の実現】

AI-OCRの導入により手書き様式から文字を読み取ってデータ化することが可能になり、より多くの課で利用できる環境となった。引き続き関係課において導入への課題整理やRPA化が可能な業務の検討を進めた。

公共施設マネジメントの推進

◇アクションプランに基づく施設の更新等

【効果：公共施設等の総量の抑制】

羽曳野市公共施設等総合管理計画アクションプラン等に基づく施設の更新等の実施<令和3年度は向野こども園の整備工事(保育園と幼稚園の集約化)を完了>のほか、羽曳野市公共施設跡地活用基本方針、「就学前教育・保育のあり方に関する基本方針」の策定など

◇PPP/PFIの活用検討・導入等

【効果：民間事業者のノウハウ等活用に関する市の基本的な考え方の提示】

内閣府による「令和3年度優先的検討規程運用支援」を受け「羽曳野市PPP/PFI優先的検討方針」を策定

市民協働によるまちづくりの推進

◇大学や企業との連携

【効果：民間活力等の導入】

多様化する地域課題などを協力して解決するため、大学や民間企業などと連携協定を締結<令和3年度は5件の連携協定を締結>、大阪府・市町村公民連携推進協議会に参画、民間企業等と適宜協議し今後の取り組み等について相互理解を図った。



羽曳野市では、このほかにも様々な取り組みを行っています。取り組みの詳細については、「[羽曳野市行財政改革大綱の実施項目](#)」で紹介しています。





Q11. 僕たち、私たちにできることは？



これからも、羽曳野市の財政状況と今後の課題に興味をもってください。

羽曳野市の財政状況のまとめ

- (1) 自主財源の割合が低く、総収入も低め
- (2) 扶助費や公債費などの義務的経費の割合が高く、自由に使えるお金が少ない。
- (3) 貯金は増えてきたが今後は減少見込み、借金は減ってきたが近隣都市平均よりも多め
- (4) 主な財政指標が府内都市平均よりも悪め

羽曳野市の今後の課題

- (1) 人口減少が進む
 《H23：11.71万人⇒R3：10.94万人⇒R12予想*：9.34万人》
※日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）
 【国立社会保障・人口問題研究所】
- (2) 扶助費の額が増加していく
 《H22:107.5億円⇒R2:135.5億円⇒R3:163.3億円※
 ⇒R4見込:142.6億円⇒R8見込:143.1億円》
※新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で行った子育て世帯や住民税非課税世帯等への臨時特別給付金、新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金などの施策により一時的に急増したものの。
- (3) 公共施設や道路・橋等のインフラが老朽化
 《市役所本庁舎耐震化未実施（更新：約137億円想定）など》

※今ある事業を廃止（スクラップ）してから、そのお金で新しい事業を行う（ビルド）こと。

今後、財政状況はますます厳しさを増すと考えます。収入の確保とともに、限られた財源をこれまで以上に有効活用するため、事業の「選択と集中」、そして「スクラップ・アンド・ビルド*」を進めていきます。



例えば、次のようなことでも、羽曳野市の財政の健全化に大きくつながります。皆さんのご協力、よろしくお願いします。



そうだ。温泉に行こう。

入湯税は、温泉施設の利用者に対して課せられる税金で、環境衛生・消防施設の整備又は観光振興の費用等に充てられます。羽曳野市内には、温泉施設が2軒あります。たまには近くの天然温泉に入って心身ともにリフレッシュをしませんか？

柏羽藤G-0グランプリ!?

皆さんが出すごみの処理は、お隣の柏原市さん、藤井寺市さんと一緒に「柏羽藤環境事業組合」という組織を設置して行っており、それぞれの市のごみの量などに応じて同組合に負担金を支払っています。ごみの量が減量されれば、それに応じて負担金も減額される仕組みです。羽曳野市は3市の中で一人当たり家庭ごみ排出量が最も多い状況です（一番少ないのは藤井寺市さん）。さあ、皆さんでリサイクルを推進し、柏羽藤G-0（ゴミゼロ）グランプリに優勝しましょう！

タバコの購入は羽曳野市内で！

市たばこ税は、国産タバコの製造者や輸入タバコの販売業者などが羽曳野市内のタバコ屋さんに売り渡したタバコに対して課せられる税金です。市たばこ税は、タバコを販売するタバコ屋さんが所在する市の税収になります。ですので、タバコを購入される際は、ぜひ羽曳野市内のタバコ屋さん（コンビニを含む。）をご利用下さい。

Let's 水洗化！

公共下水道への接続ができるようになった区域に建物をお持ちの方は、公共下水道へ接続していただく必要があります。（現在浄化槽をお使いの場合でも公共下水道に接続し水環境の保全に、ご理解ください。）なお、羽曳野市の水洗化率（下水接続人口÷下水処理区域内人口）は87.9%（府内市町村平均97.7%）です。皆さまの排水を処理する下水道管や下水処理場の用意ができましたが、巨額の費用で構築した下水道施設も、ご利用いただければ意味がありません。水洗化して清潔で住みよい街をつくりましょう。



最後まで読んでいただきありがとうございました。
つぶたんと一緒に見てきましたが、少しでも羽曳野市の財政状況を考えていただけるきっかけになれば幸いです。
また、財政に関することで、お気づきの点や何か良いアイデアがあれば教えてください。
これからも、羽曳野市の行財政運営にご理解とご協力をお願いします。

■ なお、令和3年度決算のより詳細な情報は[こちら](#)のページをご覧ください。



世界遺産と日本遺産のあるまち
HABIKINO CITY



羽曳野市の財政状況

〈令和3年度決算〉【第2版】

羽曳野市総務部財政課

Tel : 072-947-3807

Mail : zaisei@city.habikino.lg.jp